

やんばる地域の国立公園に関する基本的な考え方 (目次案)

1. 背景

2. やんばる地域の現状

(1) 自然環境

(2) 社会環境及び文化

3. やんばる地域の国立公園に関する基本的な考え方

(1) 国立公園として保全・活用すべき資源

- ・ 照葉樹林の価値
(まとまりのある照葉樹林の風景、固有種・希少種の生息・生育地としての森林及び河川、エコツーリズムに適した森林など)
- ・ その他
(文化的景観を含む里地里山の価値、海岸景観など)

(2) 国立公園の管理運営の基本な考え方(資源の保全・活用の基本的な考え方)

- ・ 国立公園としての指定要素となる希少種の保全、それを育む森林の保全
- ・ 利用者へのサービス提供の考え方
- ・ 多様な主体の参画による計画策定と管理運営(環境省をはじめとする公的機関の役割と地域の積極的な参加)
- ・ 科学的データ整備、評価システム及び順応的な管理運営
- ・ 利用の推進と地域振興
- ・ 周辺地域との連携
- ・ 国民・住民に対する説明責任

(3) その他

4. 国立公園の指定プロセスの原則

(1) 科学的データ及び社会条件に基づく公園区域及び公園計画案の作成

(2) 指定プロセスにおける地域の意志の重視